

RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3 の簡易紹介

この EA は

ポジションサイズをコントロールし、リスクを限定的にすることで長期的に FX を続けられるような環境を手に入れる。

というテーマを元に作りました。

(EA といっても自動売買をするようなものではありません。)

ポジションサイズ (ロット数) をエントリー状況によってコントロールすることは FX において非常に重要なスキルになります。

今現在、上手くポジションサイズのコントロールできないという方に有効に活用して頂ければ嬉しく思います。

注 : EA 使用による損害が発生した場合、損失金額・その他一切の責任は終えませんので、必ずデモトレードでお試し下さい。

RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3 の主な機能

- 時間指定決済（オン・オフの切替あり）
- 資金量に対して設定したリスク率でロット数を自動で計算
- ナンピン分割エントリー
- 損切りと利食い幅の数値を目視で確認

■時間帯指定決済について

指標の 30 分前に自動で決済、値動きが少なくなる午前 2 時をもって自動で決済といった使い方ができます。

時間は日本時間で指定するようになっています。

■資金量に対して設定したリスク率でロット数を自動で計算について

```
Local Time:2014.05.21 02:54:26 System Run
--Copyright-----
EANAME
Copyright 2014, 白山
-----
Lots=0.06 SL=31pips TL34pips
```

総資金量に対し 1 回のトレードとるリスク率を予め設定することで、ロット数が自動で計算されチャートに表示されます。

仮に 2%にリスク率を抑えたい場合は上記画像のように自動で計算されたロット数が表示されます。

この機能を使うことで破綻するリスクはほぼ避けられるはずですが。

※リスク率をいくつにするかという考え方は後述しています。

■ナンピン分割エントリーについて

```
Local Time:2014.05.21 03:07:21 System Run
```

```
--Copyright-----
```

```
EANAME
```

```
Copyright 2014, 白山
```

```
-----  
Lots=0.06 SL=34pips TL32pips
```

```
NanpinLots=0.03
```

ナンピンの数を増やしてもリスクが高くないよう、ポジションの数によってロット数が分割されます。

1つのエントリーで計算されたロット数が0.06だとすると、ポジションを2つにわけた場合、0.03ロットずつエントリーがされます。

NanpinLotsには分割した分のロット数が表示されます。

NL ラインを設定しないと NanpinLots は表示されません。

■損切りと利食い幅の数値を目視で確認について

```
Local Time:2014.05.21 02:54:26 System Run
```

```
--Copyright-----
```

```
EANAME
```

```
Copyright 2014, 白山
```

```
-----  
Lots=0.06 SL=31pips TL34pips
```

設定した損切りまでの距離と利食いまでの距離が表示されます。

SL=損切りまでの pips 数

TL=利食いまでの pips 数

RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3 の設定方法

①MT4 を起動

↓

②「メニュー」→「ファイル」→「データフォルダを開く」→「MQL4」→「Experts」

↓

③開いた Experts に「RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3. ex4」をドラッグアンドドロップ or コピーアンドペースト

↓

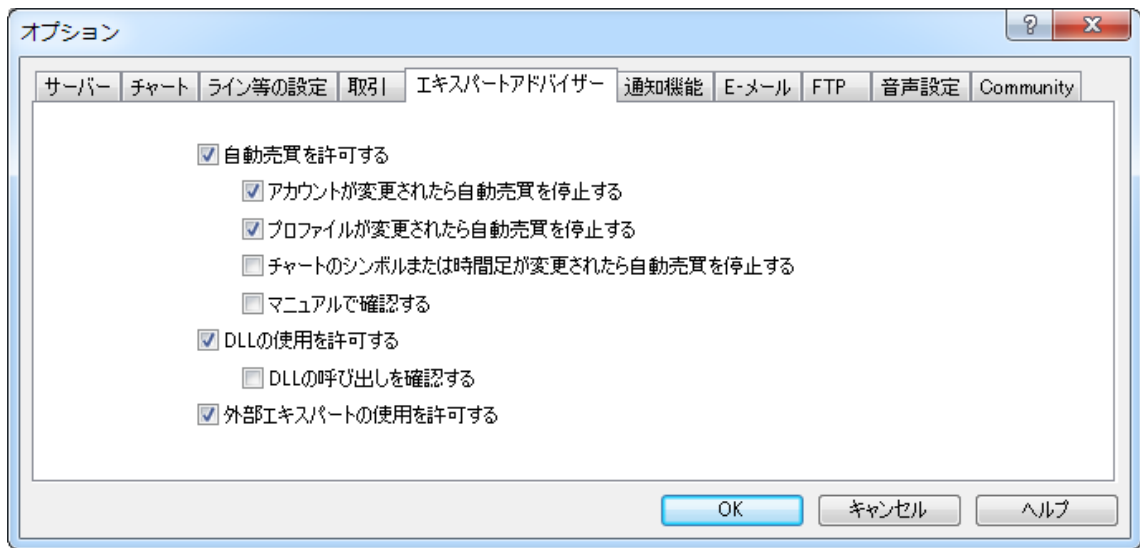
④MT4 を再起動

↓

⑤ナビゲーターのエキスパートアドバイザーから「RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3」をチャートにドラッグアンドドロップ。その際パラメーター（下記参照）を設定。

注：MT4 のエキスパートアドバイザーを以下のように設定しておいてください。

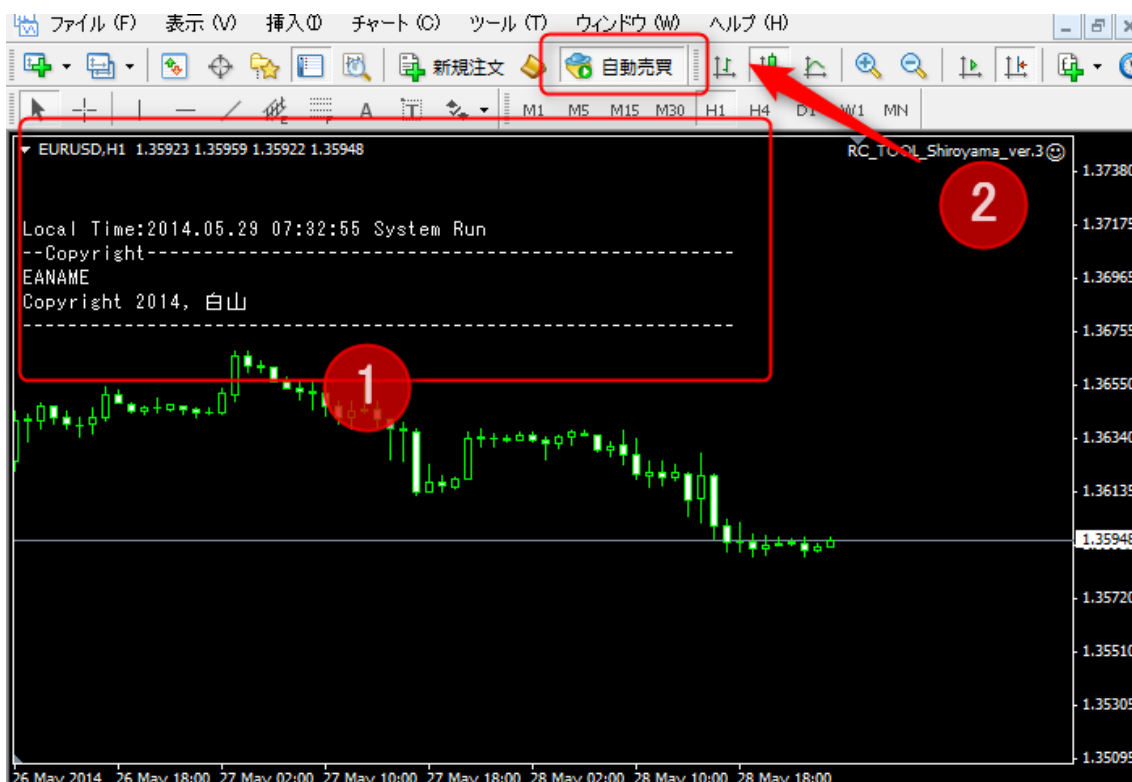
エキスパートアドバイザーは「ツール」→「オプション」にあります。



RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3 のパラメーター

パラメーター名	パラメーターの説明	デフォルト値
Slippage	発注時に許容するスリッページの設定単位 pips で指定します。	30
MagicNumber	このシステムが取得するポジションの識別値設定です。このシステムを複数の通貨ペア、時間足で使用する場合は、値が重複しないように設定して下さい。	2500
LossPercent	総資金に対しての損失許容率の設定です。%で指定します。	4.0
SpreadUse	ロットの計算にスプレッドを含めるかの設定です。true が含める false が含めない	true
TimeCloseUse	時間指定決済をするかしないかの設定です。true がする false がしない	true
EntryLineName	エントリーラインの名前を指定します。自由に変更可能です。(E やエントリーなど)	EL
StopLossLineName	ストップラインの名前を指定します。自由に変更可能です。(S やストップなど)	SL
TakeProfitLineName	リミットラインの名前を指定します。自由に変更可能です。(T や利食いなど)	TL
NanpinLineName	難平ラインの名前を指定します。NL デフォルト値の場合、NL0, NL1, NL2 のように 0 からの連番で認識します。自由に変更可能です。(N など。その場合 N0、N1、N2 のように設定します)	NL
CloseTimeHour CloseTimeMinute	決済する時間を日本時間で指定します。 23 時 30 分に決済するなら CloseTimeHour を「23」 CloseTimeMinute を「30」とします。 ※成り行きエントリーも時間決済されます。	1 0
FontColor	フォントの色を指定します。	White
FontSize	フォントのサイズを指定します。	10
LeftPix	表示位置の指定をします。	1000
TopPix	表示位置の指定をします。	10

RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3 の使い方



エキスパートアドバイザーから「RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3」をチャートにドラッグアンドドロップすると①のようなパラメーターが表示されます。(自動売買を使用する場合②を押しておいて下さい)

この時点ではロット数やストップまでの距離、
利食いまでの距離といった情報は表示されていません。



①をクリックし、②のように利食いと損切りを入れたいポイントにラインを引きます。
仮にここでは上のラインが利食い、下のラインが損切りとします。

ラインを引いたら、ラインをダブルクリック。ラインの両端が□になっていることを確認し、ライン上で右クリックすると「Horizontal Line プロパティ」があるのでそれをクリックします。

クリックすると全般というメニューがあるので、その「名前」を SL・TL に変更します。
 (ここでは下のラインを SL、上のラインを TL に変更します)



SL と TL を設定すると、現在のレートから SL までの距離で、ロット数が自動で計算されます。

SL、TL のどちらかしか設定していない場合、自動でロット数は計算されないのでご注意ください。

後は、同じように EL や NL を設定していきます。詳しくは次の章を御覧ください。

RC_TOOL_Shiroyama_ver. 3 の使用例

※あくまでも私が考えた使い方なのでこうじゃなきゃならないということはありません。
※基本的には成り行きエントリーでの使用を推奨します。

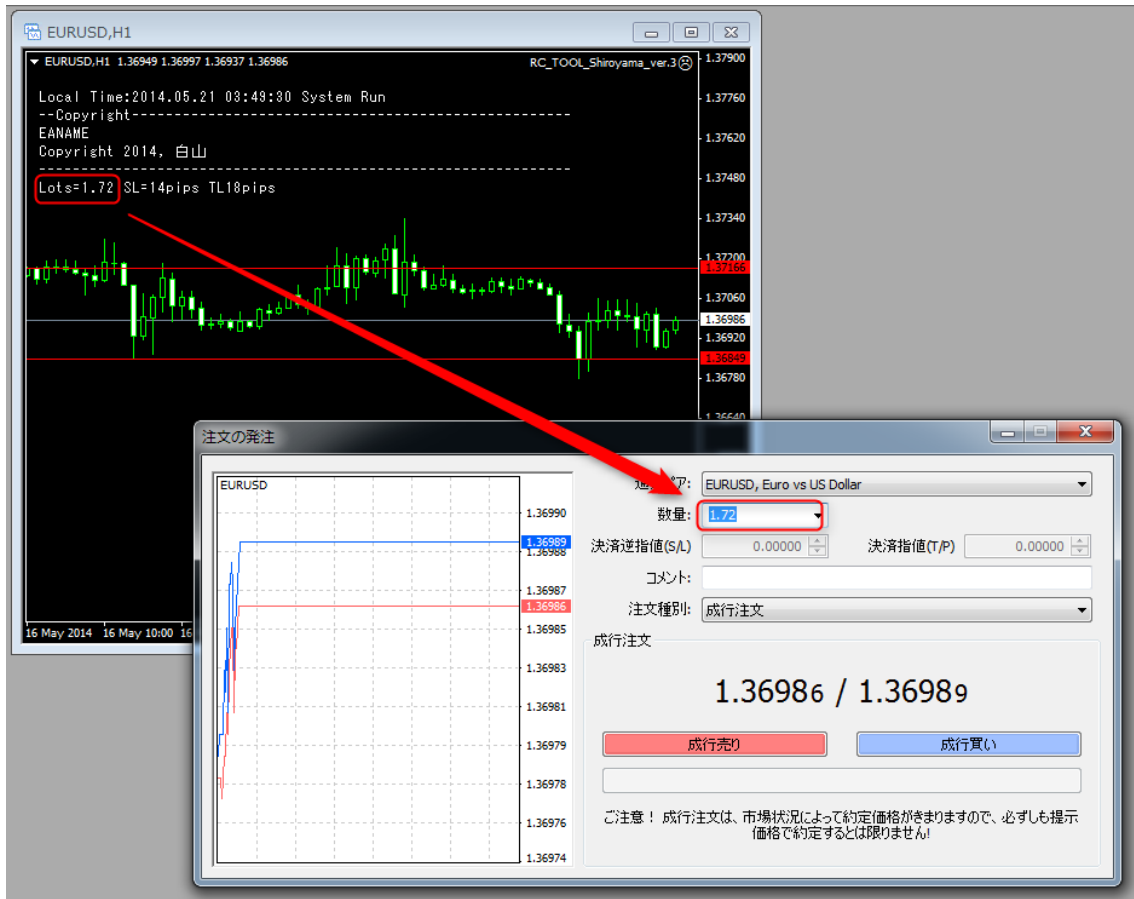
■成り行きエントリーで使用する

成り行きでエントリーする場合は、MT4 の自動売買を押さなくても問題ありません。(ニコニコマークの口がへの字でもオッケーです)

使用するのは「SL」と「TL」のみになります。



仮に画像のように、直近安値の下に SL (損切りライン) を設定し、TL (利食い) をレジスタンス付近にしたとすると、自動で現在のレートから SL までの距離でロット数が計算されるので、



あとは計算されたロット数で成り行きでエントリーします。

これが一番シンプルな使い方です。

ただ、資金量が多く値動きが速いときなどはロット数の変化も早くなるため手動でロット数を入力するのに手間取るかもしれません。(個人的には慣れれば問題のない範囲かと思っています)

※成り行きでエントリーした場合、「TL」「SL」で決済されないので、手動にて決済、もしくは指値設定してください。

■上昇トレンド中の押し目で自動エントリー（売りは逆で考えて下さい）



画像のような状況では押し目を作るポイントまで待って買いエントリーをしようと思えるかと思います。



仮に黄色のラインを押し目買いポイントとしてみましよう。



その場合、画像のように設定することで、EL ラインで自動エントリーされます。

指値買いと同じですが、自動で計算されたロット数でエントリーされるところが標準の指値買いとの違いになります。

■ラインブレイク後押し目をつけたところで自動エントリー



ラインブレイク後、押し目を待ってからのエントリーをすることがあるかと思えます。



こちらもトレンド発生時の押し目買いと同じように設定して頂くことで、計算されたロット数で自動でエントリーがされます。

■ゾーン内での分割エントリー（ナンピン）



押し目を待つとき、どこまで下げるのかというのは誰にもわかりません。

そこで、水色の枠内をゾーンと考え、そのゾーン内にいくつかエントリーポイントを設定しておきます。



「EL」が1つ目のエントリーで、「NLO」が2つ目のポジションになります。

現在のレートからELまで下がった時点で買いエントリーがされ、そこからさらにNLOまで下がったところで2つ目の買いエントリーがされるということです。

仮にELラインだけ設定した場合にロット数が1だとすると、NLOを設定した段階でロット数が分割されるため、ELで0.5ロット、NLで0.5ロットとなります。

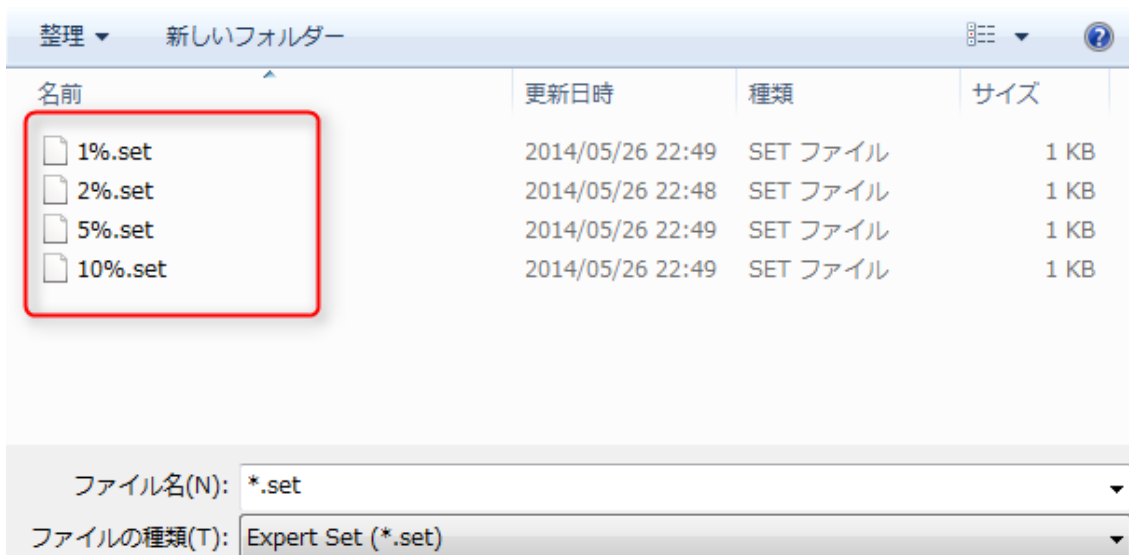
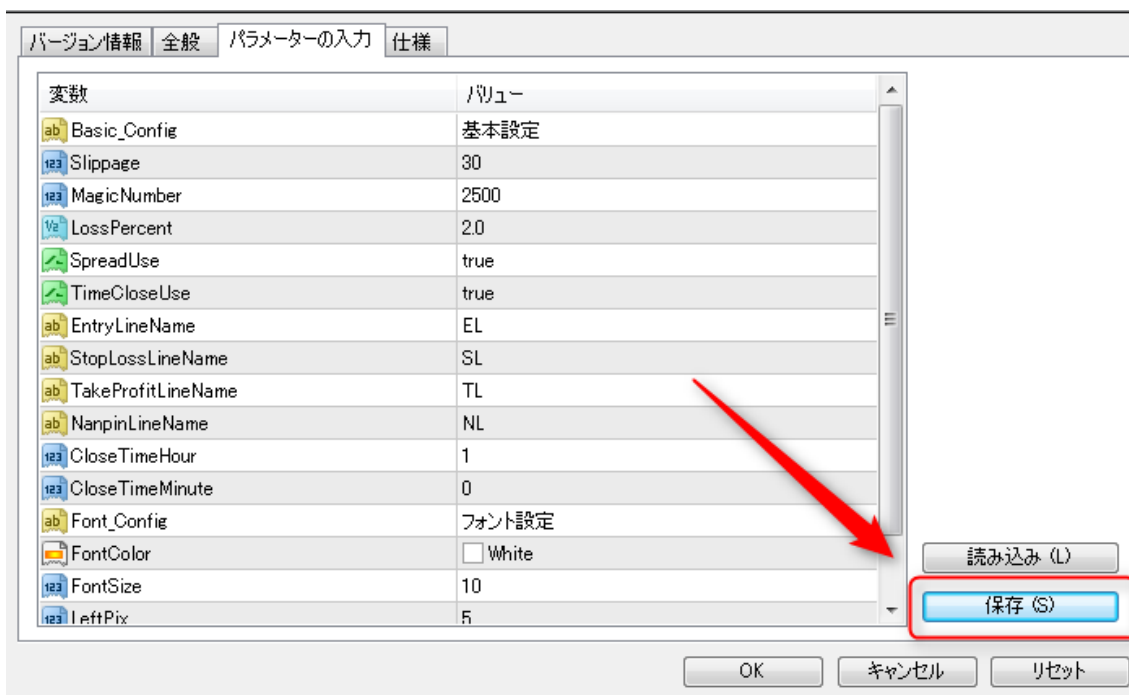


このように設定したとすると、ロット数が3つに分割されるので、約0.3ロットでエントリーされるようになります。

そのためナンピンはしますが、リスクが高くなることはありません。
4つ5つとナンピンの数を増やしても同じように分割されます。

■ エントリー条件でリスク率を分ける

エントリー条件によってポジションサイズを増やしたり減らしたりしたい場合があるかと思うので、予めリスク率別に保存しておくると便利です。



RC_T00L_Shiroyama_ver. 3 の使用上の注意点

1. 自動エントリーは押し、戻りのエントリーのみに使って下さい

今から進む方向へ EL を設定すると、正しくエントリーされません。



2. ラインを設定後、チャートテンプレートを変更した場合、ラインが消えてしまいます

このとき、もしエントリーしていた場合、SL・TL を再度設定していただかないと、決済されませんのでご注意ください。

3. 使用しない場合エントリーラインは削除しておく

EL・NL ラインを設置したままにしておくと思わぬところでエントリーしてしまう可能性もあるため、使用しない場合削除しておきましょう。

4. 時間指定決済は MT4 を起動したままにしてください

時間指定を 19 時にしておき、19 時前に MT4 を終了させてしまうと、次回起動した瞬間（23 時に起動したなら 23 時）に決済されてしまいます。

5. EL でエントリーした後、TL と SL の位置を逆にすると決済されるのでご注意ください。

6. 週末は市場が休場のため EA を設置してもチャートに表示されません。

補足：リスク率の考え方

トレードに対してリスク率をどれぐらいにするかというのはトレーダーによりますが、考え方としては3つあるかと思います。

- 1つ目はトレードをある程度していて、損益比率や勝率から導き出す方法。
- 2つ目は損切りになったときに精神的負担がない額に設定する方法。
- 3つ目は単純に資金量に対して1~2%に抑える。

この3つです。

これから始める方は2~3の方法になるかと思います。

■トレードをある程度していて、損益比率や勝率から導き出す方法について

損益比率と勝率がすでにわかっている方、もしくは過去トレードを振り返ればそれらが計算できる方は、バルサラの破産確率を使い破産しないためのリスク率というのが導き出せます。

バルサラの破産確率というのは、トレードを繰り返したときにどの程度の割合で破産するのかという確率になります。

つまりこの確率が低ければ低いほど破産する確率が少なくなるということです。

以下の表は、縦軸が損益率、横軸が勝率になっているバルサラの破産確率表になります。

※この表は、資金に対して1トレードでとるリスク率を1%で計算しています。

		勝率								
		10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%
損 益 率	0.5	100%	100%	100%	100%	100%	100%	13%	0%	0%
	0.75	100%	100%	100%	100%	100%	25%	0.10%	0%	0%
	1	100%	100%	100%	100%	99%	1.70%	0%	0%	0%
	2	100%	100%	100%	14.30%	0.80%	0%	0%	0%	0%
	3	100%	100%	27.70%	2.50%	0.20%	0%	0%	0%	0%
	4	100%	99%	10.20%	1.30%	0.10%	0%	0%	0%	0%
	5	100%	46.70%	6%	0.80%	0.10%	0%	0%	0%	0%
	6	100%	29.70%	4.50%	0.80%	0.10%	0%	0%	0%	0%

赤の枠は破産する、またはほぼ破産するゾーン

緑の枠はやや破産する確率が高いゾーン

水色の枠は私が考える許容しても良いんじゃないかなというゾーン

紫の枠は破産する確率があまりない理想的なゾーン

仮に現在の成績が、勝率 50%、損益比率が 3 だとすると、上記の表は資金に対してのリスク率を1%で計算されたもので、破産確率は0.2%となります。

ただトレードではリスク率は1~2%に抑えると良いと言われているので、もう少しリスク率を高くしても良さそうです。

以下のサイトで計算してみると、

[バルサラの破産計算サイト](#)

勝率 50%、損益比率 3 だとリスク率は7%ほどとっても破産確率は1.7%になるため、最大で7%ほどでも良さそうと考えることができます。

つまり、RC_T00L_Shroyama_ver.3 の LosePercent を「7.0」に設定することで、最大限リスクを取りつつも破産する確率の低いトレードができることとなります。

■損切りになったときに精神的負担がない額に設定する方法について

例えば資金 100 万円でトレードをしているときに、1 回の損切りで 1 万円の損失になり、精神的に辛さを感じたなら、それは自分にとって 1 万円が許容できる損失ではないということになります。

このようなときは、損切りになったときに精神的に負担のない額まで損失を落とすことで対応していきます。

躊躇なく切れる額と言ってもいいかもしれません。

ここでは極端ではありますが 100 万円に対して 2000 円の損切りなら躊躇なく損切りができるということにしてみましょう。

そうすると取れるリスク率は 0.2%ということになります。

$$2000 \text{ 円} \div 100 \text{ 万} \times 100 = 0.2\%$$

なので、RC_TOOL_Shiroyama_ver.3 の LosePercent には「0.2」と設定します。

※資金量と設定するリスク率によってはロット数が小さすぎて業者によって注文が入らないことも考えられるためご注意ください。

■単純に資金量に対して 1~2%に抑える。

FX トレードでは資金に対してリスク率は 2%程度に収めるのが良いとされていますので、単純にそれに従う形です。

ただ初めのうちは負けるものなので 1%に設定しておき、スキルを身につけることに専念してもいいかもしれません。

以上で RC_TOOL_Shiroyama_ver.3 の紹介を終わりとさせていただきます。

なにか不明な点があれば、以下のアドレス宛てに連絡下さい。

shiroyama@fx-ravo.com